



カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得原価があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			環境に配慮した材、製品の提供を通じて生物多様性の保全に配慮している。									6.6												15																
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			コピー用紙の裏紙使用、在庫管理を徹底している。															12.5								14.1														
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			利用状況を把握している。また、雨水利用を促進し、水資源の有効活用に取り組んでいる。									6.4 6.6																												
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			環境マネジメント規格を取得していないため、今後の事業状況により、取得を検討していきたい。							3.9			6	7								12		13.3		14		15												
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	(予定)現状では環境に関する取り組みを開示していないため、ホームページなどでの開示を今後検討していく。																				12.6																	
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			太陽光パネルを社屋・倉庫に設置し、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。												7.2														13											
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			非法材材を使用しないことの確認をしている。																											12.2	13	14	15							
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄がないように周知徹底をしている。																													16 16.5								
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為がないように周知徹底をしている。																													16								
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			知的財産権への侵害がないように管理している。													8.2 8.3	9																							
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報保護法に則り、遵守徹底している。																													16								
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			使用製品の原材料の把握など徹底している。																														16							
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			協力会社とは円環に意思疎通ができるように、定期的に話し合いの場を設けている。										5		8																		12	13	14	15	16	17		
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表していく。							3																									8	9	10			17

No.	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (※などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
						1 17.1.1	2 17.1.2	3 17.1.3	4 17.1.4	5 17.1.5	6 17.1.6	7 17.1.7	8 17.1.8	9 17.1.9	10 17.1.10	11 17.1.11	12 17.1.12	13 17.1.13	14 17.1.14	15 17.1.15	16 17.1.16	17 17.1.17				
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			製品使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。			3.9										12.4								
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・理場の清掃、整理整頓、安全点検を常に行うことを徹底している。 ・引き渡し後も手厚いサポートサービスを推奨することで、長持ちする住まいを提供している。									9												
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		当社は製品の開発・設計を行っていない。					6								12	13	14	15					
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		当社は製品の開発・設計を行っていない。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域社会と緊密にコミュニケーションを取り、自社事業が地域に与える影響を適切に管理、把握している。				4						9			11	12		14	15		17		
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			地域イベントへの参加や寄付活動など、常に社会貢献活動に取り組んでいる。				4									11			14	15		17		
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	【非該当】		大手メーカーからの仕入製品を扱う特性上、地域資源を積極的に活用する機会がない。									8	9			11	12	13						
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有している	基本			経営理念を明文化している。									8	9										17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			外部研修への参加を通じて、コンプライアンスの重要性を周知徹底している。																				16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			役員が担当窓口となり、体制を整備している。																				16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本			適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容に努めている。																				16	
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・リスクの洗い出し、評価を行った上で、適切な対策をしている。																				16	
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			CSRの考えに基づき、地域社会への貢献活動などを通じて責任を持った対応に取り組んでいる。																				16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	BCPの策定を検討している。										9			11			13 13.1				16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			後継者候補がいる。									8	9										17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								

【記載留意事項】  
 ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)  
 ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。  
 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance) (※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は赤字、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定